



プラス セ ー フ

+Safe通信

(介護施設・第1号)

令和6年11月発行

事務局: 富山労働局健康安全課
電話 076-432-2731

富山介護施設+Safe協議会

【構成員】社会福祉法人おおさわの福祉会
社会福祉法人喜寿会
特定医療法人財団五省会
富山県厚生部高齢福祉課
富山県老人福祉施設協議会

「+Safe 協議会」とは

転倒、腰痛等の労働災害が増加傾向にある小売業及び介護施設について、それぞれ管内のリーディングカンパニー、地方公共団体、関係団体等を構成員として、令和4年度から開催しているもので、構成員が取り組んでいる労働災害防止に向けた好事例を同業種に周知することなどにより、労働災害の減少を図るものです。

令和6年10月4日、富山労働総合庁舎（富山市神通本町）において、令和6年度第1回「富山介護施設+Safe 協議会」を開催しました。

協議会では、富山労働局の担当者から労働災害発生状況やSAFE アワード※受賞企業の取組事例について説明した後、構成員と意見交換を行い、労働災害の現状や構成員における取組等を共有するとともに、今後の活動について協議しました。

※ 厚生労働省の実施する表彰制度で、労災防止に向けた取組を企業・団体から募り、一般投票等により優れた取組を表彰するもの。

<構成員の取組・意見等>

- 各構成員事業者とも積極的に腰痛予防対策に取り組んでおり、職員に対するアンケートの実施、ヨガ教室の開催、啓発ポスターの作成、作業姿勢の見直し指導の実施、などのほか、介護ロボット、ICTの導入といった取組事例の報告があった。
- 県担当者からは、事業者における好取組の展開を図る「がんばる介護事業所表彰」について報告があった。
- 構成員事業者から、介護ロボットの活用之际、導入時の補助制度はあるが、維持費についても支援してほしいとの意見があった。
- 今後の活動について、構成員事業者における好取組をリーフレットに取りまとめて広く周知を図ることとし、併せて、内閣総理大臣表彰を受けた県外事業者の方を講師として招聘したセミナー開催などを検討することとした。



【SAFE コンソーシアム】

2022年6月に厚生労働省が設立した、労働災害防止の取組を進める活動体。

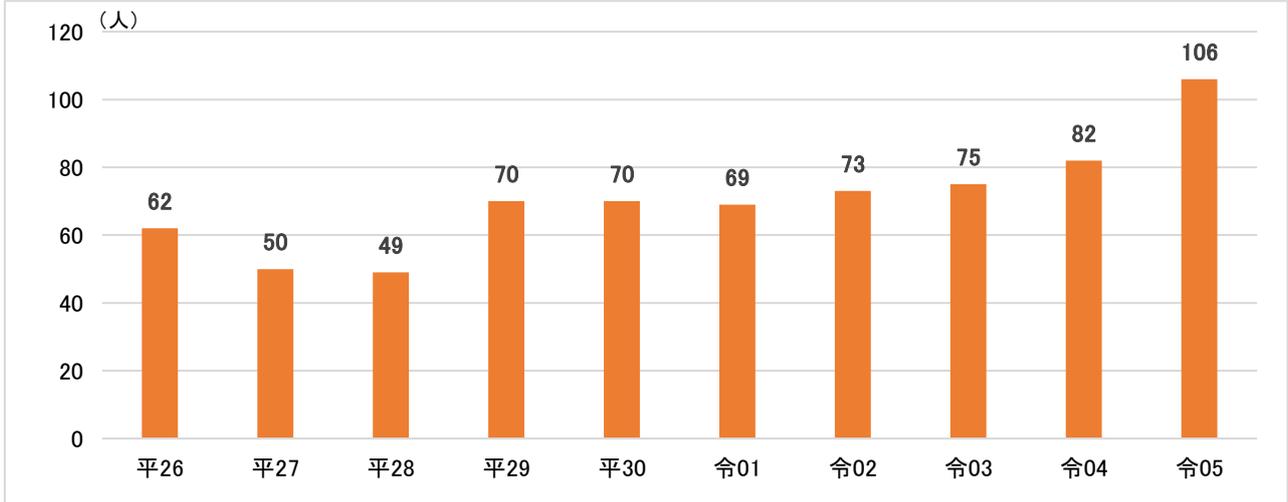
「Safer Action For Employees」を旗印に、全てのステークホルダーが一丸となり、安全で健康に働くことのできる職場環境の実現を目指して取り組んでいます。



(参考) 富山県内の社会福祉施設における労働災害発生状況

- ・過去 10 年間の死傷者数は増減を繰り返しながら、近年は増加傾向にある。
- ・事故の型別では「転倒」と「動作の反動、無理な動作」で全体の約 3/4 を占めている。
- ・年齢別では「50~59 歳」と「60 歳～」で全体の 3/4 あまりを占めている。

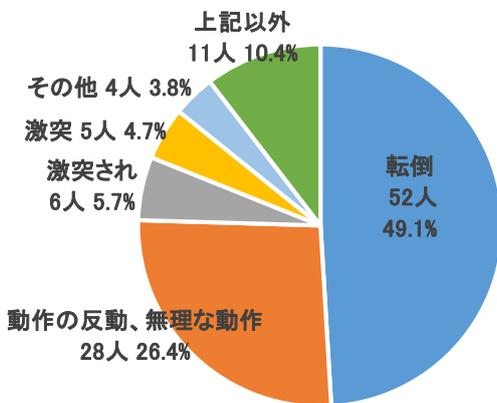
○休業 4 日以上[※]の死傷者数[※]の推移 (過去 10 年間) ※新型コロナウイルス感染症の罹患による労働災害を除く。



	平 26	平 27	平 28	平 29	平 30	令 01	令 02	令 03	令 04	令 05
社福施設	62	50	49	70	70	69	73	75	82	106
全産業	1,164	1,052	1,048	1,189	1,174	1,083	1,142	1,149	1,123	1,097
割合	5.3%	4.8%	4.7%	5.9%	6.0%	6.4%	6.4%	6.5%	7.3%	9.7%

○事故の型別 (令和 5 年)

転倒	52 人 (49.1%)
動作の反動、無理な動作	28 人 (26.4%)
激突され	6 人 (5.7%)
激突	5 人 (4.7%)
その他	4 人 (3.8%)
上記以外	11 人 (10.4%)



○年齢別 (令和 5 年)

～19 歳	0 人 (0.0%)
20~29 歳	2 人 (1.9%)
30~39 歳	8 人 (7.5%)
40~49 歳	15 人 (14.2%)
50~59 歳	41 人 (38.7%)
60 歳～	40 人 (37.7%)

